

災害時の消防活動支援

山形中央生コン協組ら
上山市と協定締結



山形中央生コンクリート協同組合(成田潔理事長)と山形県コンクリート圧送協会(佐藤隆彦会長)は3月27日、山形県上山市と「災害時における消防活動等の応援

に関する協定」を締結した。消防用の水を火災現場まで運搬し、消防車と協力して消火活動を行う。両協会による協定締結は山形、天童両市に次いで3市目。

調印式は同市役所内で行われ、上山市の横戸長兵衛市長、成田理事長、佐藤会長が出席。それぞれ協定書に調印した。

両団体は市の要請を受けて特殊車両を派遣。生コン協同組合はコンクリートミキサー車を使って消防用水を運び、圧送協会はコンクリートポンプ車で高所からの放水を支援する。豪雨時は冠水した水を吸い上げるなど災害時も応援する。

横戸市長は「いざというときは力を貸して頂き、被害を最小限にしたい」と期待。成田理事長は「両団体の特性を生かし未永く市民の安全・安心に貢献したい」と話し、佐藤会長は「全国的にも珍しい三者協定だ。しっかりと準備を進めたい」と決意を述べた。

協定書に調印した(右から)成田理事長、横戸市長、佐藤会長